

会員様同士の活発な情報交換のために、月に1回お届けしております。

++ CONTENTS ++

- 【1】青銀会理事によるリレーエッセイ：(事務局長)小林敏男 氏
- 【2】第7回大会・総会・懇親会のご案内
- 【3】助成金・イベント・セミナー等のお知らせ
- 【4】編集部からのお知らせ
- 【5】編集後記

【1】青銀会リレーエッセイ「乱気流時代に突入して」 小林敏男

事務局長の小林です。
会員各位におかれましては日々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて早速ですが、近年の経済環境を見ておきますと、世紀末にまたがる10年は、世界各地でミニバブルが発生しては潰れ、安定した経済成長があまり望めない「ナーバス(神経質)な」経済情勢であったと思います。日本では行財政改革の遅れから、「失われた10年」と言われた時期でもありました。

それが最近では、米国におけるサブプライムローン問題に端を発した金融市場の混乱は、希少資源(原油、レアメタル等々)の高騰を惹起し、ただならぬ経済状況を呈しつつあります。すなわち、低所得者向け不動産融資金利に関連する金融派生商品が過熱しそのバブルが崩壊するや否や、余剰資金は右肩上がりが見えかねない希少資源に向かい、実体経済に深刻な影響を及ぼし始めました。世界における株式市場に向いていた資金はいまや、希少資源に向かっている、と言っても過言ではありません。

少し専門的になりますが、金融派生商品を組む場合、基本となる指標は、統計学的に言えば、平均と分散であり、とりわけ分散は、金融工学ではボラティリティとして扱われる重要な指標です。一本調子で右肩上がりを続けている原油を考えれば明らかのように、下振れのボラティリティを考慮する必要は余りなく、それゆえ比較的容易に(リスクを少なく)派生商品を構成できると言えなくありません。まあ、サブプライムローンも同じ理由で多種多様な商品が開発されたのですが。

商品市場を巻き込んだ投機的資金が世界中を駆け巡っている状況は我々の実生活にも深く影響を及ぼし、それゆえ「タービュラント(乱気流的)な」経済情勢と言え、グローバルに浮沈の非常に激しい状況です。こうしたときに金融市場では、比較的成長に長時間がかかるベンチャービジネスには、投資資金はなかなか流れこんでいきません。なぜなら時間はリスクだからです。それゆえ青い銀杏の会自身も厳しい時代に突入した、と言えなくはありません。

とは言え、こうした乱気流時代だからこそ、経営力を磨くにはまたとないチャンス、と言えなくありません。俗に良く言われることですが、フォローウインド(順風)のときは、調子に乗りすぎて、つんのめって倒れてしまうこともありえますが、アゲインストウインド(逆風)のときは、腰を低くしじっと耐えようとするので、案外しぶとく生き残っていける、というものです。

大学発ベンチャーとして創業された会員企業ですから、その独自技術に対するファンはいるはずですが、ただそれが一般市場にて評価されるようになるには、大きな溝(ギャップ)を超えていかなければなりません。

なぜなら、ファンはテクノロジーマニアで価格などは度外視します。しかし一般市場では、実利があるかないかが問われます。そして何よりも、「有名」であることが求められます。マニアから実利主義者を相手に出来るようになるには、技術開発以上のマーケティング戦略が必要になってきます。ここが実は最も難しいのです。

乱気流時代におけるハイテクベンチャー向けマーケティングの書として、ジェフリー・ムーア著『キャズム：ハイテクをブレイクさせる「超」マーケティング理論』(翔泳社、2002年刊)を紹介させていただいて、拙文を閉じさせていただきます。
有難うございました。

平成20年6月7日
小林敏男(大阪大学大学院経済学研究科教授)

▼△▼△

【2】第7回大会・総会・懇親会のご案内とプログラム

以下のように第7回大会(参加無料)・総会・懇親会(参加費3000円)を開催します。ご多用中とは存じますが、万障お繰り合わせのうえご来館いただきますよう、お待ち申し上げます。

日時:平成20年6月20日(金) 14:00~19:30
場所:大阪大学 吹田キャンパス内 銀杏会館
(阪急電車・三和銀行ホール)
内容:大会 ~大学発ベンチャーの海外展開~, 第3回定時総会、懇親会

【プログラム】

14:00 開会挨拶

特定非営利活動法人青い銀杏の会 理事長 森下 竜一

14:05 特別講演

カルナバイオサイエンス株式会社 代表取締役社長 吉野 公一郎 氏

14:45 パネルディスカッション

「大学発ベンチャーの海外展開」

〈パネリスト〉

文部科学省 研究振興局 研究環境・産業連携課長 田口 康 氏
経済産業局 製造産業局 生物化学産業課長 倉田 健児 氏
株式会社エムズサイエンス 代表取締役社長 嶋内 明彦 氏
株式会社ジーンデザイン 代表取締役 湯山 和彦 氏

〈ファシリテータ〉

特定非営利活動法人青い銀杏の会 理事長 森下 竜一

16:35 会員活動報告

- (1) 株式会社創晶 <http://www.so-sho.jp/>
- (2) 株式会社ニューラルイメージ <http://www.neuralimage.co.jp/>
- (3) 株式会社アイキャット <http://www.icatcorp.jp/>
- (4) 株式会社セキュアウェア <http://www.secure-ware.com/>
- (5) 骨関連手術支援システムプロジェクト <http://www.dr-murase.net/>
(大阪大学大学院 医学系研究科 起業前プロジェクト)

17:35 第3回定時総会

18:00 懇親会 レストラン・ミネルバ(銀杏会館 2F)

(登壇者は変更になる場合もありますので、ご了承ください)

▼△▼△

【3】イベント・セミナー・助成金等のお知らせ

▼△▼△

＜池銀＞“ニュービジネス”助成金の公募について

【池田銀行】

新規性・独創性のあるビジネスプランを有する企業、起業家の発掘・育成を支援します。

(12プランを目途に、総額1,000万円程度を支給)

＜池銀＞地域起こし大 賞 300万円
＜池銀＞地域起こし優秀賞 100万円
＜池銀＞地域起こし奨励賞 50万円

■公募期間: 2008年5月9日(金)～7月7日(月)

■詳細: http://www.ikedabank.co.jp/news08/news0501_02obo.html

■問い合わせ:

株式会社池田銀行 CS本部内 “地域起こし”事務局
〒530-0013

大阪市北区茶屋町18-14

TEL: 06-6375-3793(受付時間: 平日午前9時～午後5時)

▼△▼△

「産学共同シーズイノベーション化事業」
顕在化ステージ、育成ステージの公募について
【(独)科学技術振興機構(JST)】

大学・公的研究機関等の基礎研究に着目し、産業界の視点からシーズ候補を顕在化させ、大学等と産業界との共同研究によってイノベーションの創出に繋げることを目的とする事業です。
本事業では、「顕在化ステージ」及び「育成ステージ」の研究課題をそれぞれ募集します。

■公募期間:

【顕在化ステージ】

第3回締切: 平成20年8月4日(月)17:00まで

【育成ステージ】

平成20年6月2日(月)～平成20年8月18日(月) 17:00まで

■詳細: <http://www.jst.go.jp/innovate/innov/index.html>

■お問い合わせ:

独立行政法人科学技術振興機構 技術展開部 イノベーション創出課

TEL: 03-5214-7995 FAX: 03-5214-8496

E-mail: innovate@jst.go.jp

▼△▼△

独創的シーズ展開事業「委託開発」課題の公募について
【(独)科学技術振興機構(JST)】

「委託開発」は大学等の研究成果で、特に開発リスクの高いものについて企業に開発費を支出して、実用化を支援します。

■公募期間: 第2回 2008年6月11日(水)～8月20日(木)

■詳細: <http://www.jst.go.jp/itaku/>

■問い合わせ:

独立行政法人科学技術振興機構 開発部 開発計画課
(担当: 久保、崎原)

TEL: 03-5214-8994 FAX: 03-5214-8999

E-mail: project@jst.go.jp

▼△▼△

良いシーズをつなぐ知の連携システム(つなぐしくみ)
の公募について
【(独)科学技術振興機構(JST)】

大学等で創出・育成された技術シーズの中から実用化に向けた発展が期待される課題を収集し、目利き人材が特許、技術や市場規模等の評価分析を行って、次の実用化ステップへ円滑につなげる支援を行うことにより、

実用化を促進します。

- 公募期間: 第2回 2008年 8月29日(金)まで
第3回 2008年12月25日(木)まで
- 詳細: <http://www.jst.go.jp/tt/tsunagu/>
- 問い合わせ:
独立行政法人科学技術振興機構 産学連携事業本部
技術移転促進部 シーズ展開課 つなぐしくみ担当
TEL: 03-5214-7519(月曜～金曜 10:00～12:00/13:00～17:00)
E-mail: tsunagu@jst.go.jp

▼△▼△

平成20年度新連携対策補助金
(事業化・市場化支援事業、連携体構築支援事業)の公募について
【中小企業庁】

本制度は、その行う事業の分野を異にする2以上の中小企業者が有機的に連携し、その経営資源(設備、技術、個人の有する知識及び技能その他の事業活動に活用される資源をいう。以下同じ。)を有効に組み合わせて、新商品の開発又は生産、新役務の開発又は提供、商品の新たな生産又は販売の方式の導入、役務の新たな提供の方式の導入その他の新たな事業活動を行う事業及び、同事業を行う連携体を構築するための事業に要する経費の一部を補助するものです。

- 公募期間:
【事業化・市場化支援事業】
平成20年7月1日(火)～平成20年7月31日(木)
【連携体構築支援事業】
平成20年7月1日(火)～平成20年7月31日(木)
- 詳細: http://www.chusho.meti.go.jp/keiei/shinpou/080206shinrenkei_koubo.htm
- お問い合わせ:
近畿経済産業局 産業部 中小企業課
TEL: 06-6966-6054 FAX: 06-6966-6083

▼△▼△

「第7回産学官連携推進会議」開催のご案内

本会議は、産学官連携の強力な推進による科学技術創造立国の実現に向けて、産学官連携の推進を担う第一線のリーダーや実務者・専門家等が一堂に会し、具体的に課題について研究協議、情報交換、対話・交流・展示等を行うものです。

- 日 程: 2008年6月14日(土)8時30分～20時00分
- 参加費: 無料(交流会に参加される方は6,000円)
- 開催場所: 国立京都国際会館
- 詳細: <http://www.congre.co.jp/sangakukan/program.html>

▼△▼△

国際フロンティア産業メッセ2008実行委員会
「国際フロンティア産業メッセ2008」出展者募集のご案内

21世紀に飛躍する産業の創出を推進するため、2001年にスタートした総合産業見本市「国際フロンティア産業メッセ」が本年度も開催されます。この展示会では、企業や大学・研究機関による先端技術の紹介や新事業創出の基盤となる製品展示を中心に、基調講演、各種セミナーや交流会など多彩なプログラムを展開し、企業と大学・研究機関の技術・ビジネス交流を進める機会を提供します。現在、出展者の募集を行っております。7月末日申込締切です。

- 開催日時: 平成20年10月8日(水)・9日(木) 10:00～17:00
- 会 場: 神戸国際展示場2号館(神戸ポートアイランド内)
神戸市中央区港島中町6-11-1
- 予定出展数: 約200ブース

- 出展料:Aタイプ:9m2(3m×3m) 157,500円
Bタイプ:5m2(2.5m×2m) 105,000円
Cタイプ:3m2(2m×1.5m) 無料(※大学・公的機関のみ)
- 出展分野:ナノ、情報通信・エレクトロニクス、健康・医療、
環境・エネルギー、ロボット(人工知能)、新製造技術、
産学連携ゾーン、アジア・海外ゾーン及び関連分野
- 内 容:展示会(製品・試作品やパネル展示)、
出展者プレゼンテーション、デモンストレーション、
セミナー、商談会等
- 出展の詳細:<http://www.kobemesse.com/exhibition/index.html>
- お問い合わせ:
 - 出展に関すること(出展小間、料金等に関すること等)
神戸新聞事業社 フロンティアメッセ事務局
〒650-0044 神戸市中央区東川崎町1-5-7
TEL:078-362-6011 FAX:078-362-7764
E-mail:info@kobemesse.com
 - 事業内容に関すること
(財)新産業創造研究機構(NIRO)支援企画調整部
〒650-0047 神戸市中央区港島南町1-5-2
TEL:078-306-6806 FAX:078-306-6813

▼△▼△

ネオクラスター推進共同体施策説明会
地域イノベーション創出総合支援事業
【(独)科学技術振興機構(JST)】

JSTでは、地域の中堅中小企業のニーズに応える研究開発を助成をする公募事業『地域ニーズ即応型』(最大500万円/年度 2年度)を開始します。この度、ネオクラスター推進共同体では、JSTイノベーションプラザ大阪技術参事 兼 科学技術コーディネータである鈴木義彦氏をお招きし、上記事業について説明会を開催します。自社課題を解決するニーズをお持ちの企業の方々、現在、公設試や大学と共同研究を進めている方、進めようと考えている方々の参加をお待ちしております。個別相談にも応じます。ニーズを持っておられる方にはマッチングするシーズの探索も行います。

- 日 時:2008年6月11日(水) 10:00~12:00
- 場 所:財団法人関西情報・産業活性化センター 第1会議室
(〒530-0001 大阪市北区梅田1-3-1-800 大阪駅前第一ビル8F)
- 定 員:40名(お申込順で、定員になり次第締め切らせていただきます)
- 参加費:無料
- お申込み:下記URLからお申込み下さい。
<https://secure.kiis.or.jp/neocluster/080611entry.html>
- 問合せ先:
財団法人関西情報・産業活性化センター
地域・産業活性化グループ内
TEL:06-6346-2981 FAX:06-6346-2443

※ネオクラスター推進共同体(事務局:(財)関西情報・産業活性化センター)とは、経済産業省の「産業クラスター計画」(関西フロントランナープロジェクト)を推進する事業体です。近畿地域において、企業間、大学、公的支援機関の連携を促進し、情報家電・ロボット、高機能部材、高効率エネルギー機器・装置といった次世代産業の集積を図り、世界に通用する活力ある産業クラスターの形成を目指しています。

▼△▼△

情報モラルセミナー2008 in 兵庫の開催について
企業に求められる情報モラルと人権への配慮
～個人情報保護・情報セキュリティ対策の効果的な進め方～

日常業務で行っているパソコンでの情報管理やメールのやりとりは、ひとつ間違えると、顧客や社員のプライバシーを侵害し企業のモラルを問われ、会社の信頼を失うなど、危機的な経営問題にも発展することにもなりかねません。中小企業庁、近畿経済産業局では、今回のセミナーにおいて、こうした問題

を防ぐために必要な企業の情報モラルの考え方、また個人情報保護・情報セキュリティ対策の効果的な進め方について、ビデオプレゼンテーションや講演、パネルディスカッションを用いて分かり易く解説します。
これから取り組まれる方、またすでに取り組みをされている方々にも、問題を見つめなおし、対策を徹底する機会となります。

- 日 時:平成20年6月18日(水)13:10～17:00
- 場 所:神戸商工会議所会館(神商ホール)神戸市中央区港島中町6-1
- 対 象:中小企業経営者・管理者、実務担当者、企業でインターネットを活用する人等
- 定 員:200名
- 申込締切:6月11日(水)
- 参 加 料:無料

■プログラム

◇ビデオプレゼンテーション

「実践・情報モラル～あなたの会社は大丈夫？
～人権に配慮した個人情報の取り扱い」(ビデオ上映+講演)

◇講演1

「インターネット社会と人権」

講師:株式会社インターネットプライバシー研究所
代表取締役社長 高木 寛 氏

◇講演2

「情報漏洩を防ぐ情報セキュリティ対策のあり方」

講師:独立行政法人情報処理推進機構
情報セキュリティ関連事業審議委員会委員
株式会社アークン 代表取締役社長 渡部 章 氏

◇パネル討論

「いまなぜ情報モラルなのか」

講師:高木 寛 氏・渡部 章 氏・杉井 鏡生 氏
モデレーター:青木 栄二

■詳細:<http://www.hyper.or.jp/moral2008/hyogo/>

■お申込み:参加をご希望の方は以下の方法により事務局
((財)ハイパーネットワーク社会研究所)宛にお申込み下さい。

●HPからのお申込み

<http://www.hyper.or.jp/moral2008/hyogo/>

●E-mailまたはFAXでのお申込み

次の(1)から(7)の項目を記載の上、事務局宛にお送り下さい。
記載事項

(1)件名:「近畿経済産業局からの紹介」とご記入下さい。

(2)会社名 (3)所属・役職 (4)氏名 (5)住所

(6)メールアドレス (7)TEL・FAX

E-mail: hyogo-sanka@hyper.or.jp

FAX: 097-537-8820

■事務局及びお問い合わせ先

(財)ハイパーネットワーク社会研究所 担当:渡辺、植木

TEL: 097-537-8180 FAX: 097-537-8820

E-mail: moral@hyper.or.jp

☆☆☆☆

【5】編集部からのお知らせ

□産学官連携、起業、ベンチャー経営および各種支援に関するご寄稿を
お待ちしております。

□法人会員・賛助会員の皆様からのイベント情報などもお寄せください。

□メールマガジン連絡先: mailmz@osaka-u.com

【6】編集後記

ミャンマー・中国での天変地異が連日大きく報道され、災害大国の日本に住むわれわれとしまでも他人事ではありません。一方、サブプライムで懲りた資金が現物商品に向かって原油が130ドル/バレルを越し、トウモロコシ・大豆も暴騰。隣国では物価上昇に国民の不満が高まっています。いずれ、わが国でも大きな問題になりそうです。そこへ、秋葉原の無差別殺傷事件。首相への問責決議案も今日午後、参院提出とか。過去にあまり経験のないニュースの多いこのごろです。

こんな時にこそお互いの緊密なネットワークが大きな支えになります。
6月20日の大会(無料)・総会・懇親会(3000円)にぜひご参加ください。
最後までお読みいただき、ありがとうございました。

(稲)

-
- ☐ 発行責任者: 青い銀杏の会 <http://www.osaka-u.com/>
 - ☒ 編集: 青い銀杏の会事務局
 - ☐ メールマガジン連絡先: mailmz@osaka-u.com
 - ☒ このメールマガジンの、お知り合いへの紹介や転送は自由です。
 - ☐ Copyright (c) 2007 青い銀杏の会. All rights reserved.